



Liberal Arts and Sciences

KOBE COLLEGE

Founded 1875

NEWS LETTER

NO.5

神戸女学院大学 公認心理師カリキュラム「心理実習」

立花愛の園幼稚園での学外実習



認定こども園立花愛の園幼稚園の学外実習を行いました。

立花愛の園幼稚園は幼稚園型の認定こども園であり、1歳児～5歳児の子どもたちの教育と保育を行っています。「よりよい社会と幸福な人生の創り手となるしなやかな子どもを育てる」ことを教育目標としています。教育では、子ども一人ひとりが自らやりたいことをみつけ、自主性・自発性を育てていく「子ども自身が自由に選んで行う活動」と、

その時期や子どもの姿に応じて必ず身に着きたい技能や能力や習慣などを育み豊かな情操を高める「教師が意図的に経験させる活動」の2つの側面から捉えています。

立花愛の園幼稚園にはキンダーカウンセラーの先生がいて、子育てに関する悩みや保護者自身が抱える悩みなど、保護者の方のカウンセリングを行っています。他にも、受け持つ担任の先生の支援もしています。

実習施設の先生のお話

ご講義では、保育の中での幼児や保護者への心理面での支援や保育における「見守り」について学ぶことが出来ました。

幼児への支援は、見守りながら「活動を容易にするためにささえ助けること」であり、環境構成や子ども同士の関係づくり、言葉かけなど、様々な方向から子どものことを考え、支援していることを学びました。保護者への支援では、子どもが荒れて

いる場合、母親自身が問題を抱えている場合もあるという話があり、先生方は家庭環境や親子関係など、見えない部分まで子どものことを深く考えていると知りました。

更に見守りについて、すぐに助けるのではなく、敢えて援助せず子ども自身で乗り越えることが大切だと学びました。



保育における「見守り」について、保育では子どもの「できない」経験も大切にしており、その経験がいかに子どもにとって意味のある経験にするかということが大切だと学びました。

何かトラブルがあった時や上手くできない時など、保育者は、すぐに助けず、意図的に子どもを援助せずに見守ります。それらの困難の中で、子どもが試行錯誤し、自分で乗り越える経験や自分でできた達成感を味わえる経験が大切です。

例えば、何かを製作する際に作り方が分からず先生に頼ってきた場合、先生は正解を教えるのではなく、子どもが自分で周りを観察し、自分なりに答えを見つけ出せるような環境をつくります。これは、観察する力や乗り越える力を身に付け、達成感を味わうことができ、成長に繋がります。

他にも、子ども同士でトラブルが起きた時、すぐに声をかけるのではなく、相手に自分の意見を伝える力や自分たちで解決できる力を身に付けられるような支援が重要だと学ぶことが出来ました。

2023年5月23日(火)

施設について

施設内見学をするなかで、園児や先生方の最高の笑顔と明るく元気な声が印象的で活気にあふれていたことや、子どもが自らみつけた遊びをサポートしている様子を見て、愛のあふれた素敵な環境だと感じました。

あるクラスで、立花愛の園幼稚園が大切にしている、「おまめ」のわらべうたを行っている様子を見学させていただきました。



この活動では、順番に園児の名前を呼び、呼ばれると「ポーン！」とジャンプをしながら座ることで、園児全員が注目される場を設けていると教えていただきました。他にもありさんや、おもちゃの歌を皆で仲良く歌う様子が見られました。

作成：武部
写真撮影：西坂

この度は、大変お忙しい中、貴重な体験をさせてください誠にありがとうございました。保育について、深い部分を知ることができ、嬉しく思います。立花愛の園幼稚園の皆様は、心より感謝申し上げます。



編集後記